

平成 28 年度 熊谷市立熊谷西小学校学校評価

- 1 学校教育目標 確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成
 — 知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進し「学力日本一」を目指す —
- 2 学校経営方針 ・「守・破・離」の考え方をもとに、特性と創造性を発揮し組織的な活動を通して学校教育目標を具現化させ、学力日本一を目指す。
 ・本物に触れさせる機会を通して体験活動を充実させる。
 ・学校、家庭、地域が一体となって健全でたくましく生きる西小児童の育成を目指す。
 ・西校教育 144 年の伝統を継承し、さらに発展を目指す。

(教職員の合言葉) 「 未来と勝負する! 」
 — 将来、世界でも肩を並べてたくましく生きる子供を育てます! —



- 3 学校評価
 学校要覧に示した「重点目標の具体・評価の指標」について、関連目標等を加え、児童や保護者の調査結果や教職員並びに学校関係者（学校評議員）による評価結果である。

	目指す児童像	評価項目	達成状況	学校関係者評価 (学校評議員)
知	自ら学ぶ子 	① 全国学力・学習状況調査 国語 A : 70% B : 60% 算数 A : 70% B : 60% ② コミュニケーション能力の育成 ③ 校内漢字・算数テストの達成状況 (合格点 90 点以上)	国語 A : 達成 国語 B : 未達成 算数 A : 達成 算数 B : 未達成 全学年対象に毎朝 10 分実施 漢字 : 100% 算数 : 100%	・茶道体験を全児童が行い、本物を学ぶことは、日本の伝統・文化または、礼儀作法を身に付けるもので、有意義なことである。 ・少人数や TT での授業が活用されている。確実に学習内容を理解するためには、とてもいいことである。 ・学力調査では、概ね国・県・市の平均を上回り、大変結構である。 ・学習内容の定着を意識した取り組みが各授業で展開され、教師・児童が共に生き生きとかつ、真剣に向き合っている。 ・校舎内には、児童の目の届くところに掲示物が充実している。 ・外国語は少しの時間でも、毎日の積み重ねは大きいのでよいことである。 ・廊下に設置された「学力アッププリント」は、基礎から応用まで児童の興味を刺激し、達成感から自信へつながる試みである。
徳	思いやりのある子 	① ふわふわ言葉 100% ② 人権教育の充実(道徳教育) (いじめ撲滅宣言) ③ 「時場礼」の励行 時 : 時間を守る 場 : 掃除をする 礼 : 礼儀正しく挨拶や返事をする	94% 各学年実施 集会時で確認 時 : 90% 場 : 93% 美化コンクール実施 礼 : 90%	・ふわふわ言葉を使うと、相手を思いやる気持ちが醸成され、心のつながり等がよい方向へ進むので、引き続き取組を進めたい。 ・「行為の意味」を引用した心の「見える化」の教育やあいさつ運動などの成果が現れ、児童による「ふわふわ言葉」の定着が感じられる。 ・いじめの報道が後を断たないです。特に力を入れて欲しい。 ・ノーマライゼーション理念を児童が理解できるようにするとよい。 ・「西小いじめ撲滅宣言」を児童全員が暗唱できるなど、人権が尊重される教育が行われている。 ・教室移動の際には、児童が整然と列を整えて歩いている。 ・児童は、極めて礼儀正しく立ち止まってあいさつをしてくれる。 ・礼儀正しい児童が多い。家庭でもどうであるか、確かめて欲しい。 ・保護者・教員ほど身近な大人が手本となり、徹底した取り組みの継続を望む。
体	きたえる子 	① 体力テスト (50m走) 2 回の実施で県平均達成 ② 陸上フェスティバルやタグラグビーへの積極的な参加 ③ 「すみずみまで」清掃 すみっこタイム (終了 5 分前)	体力テスト A+B+C 達成 50m走 12 月実施で達成 総合女子ルー2位 ボール投げ3位 タグラグビー-中関東大会出場 97%が意識 5分前にオコボール 年2回美化コンクール実施	・熊谷市全体でもよい結果とのこと。引き続き取組を行っていく。 ・遊びや体育などで、ボールを扱う種目を取り入れ、仲良く取り組むことで、ボール投げの向上と体力の向上を図りたい。 ・運動では三極化(運動をする子、特定種目だけ運動する子、運動をしない子)が見られるため、各々に合った体力向上の目標を掲げ、家庭との連携を図ることが必要。 ・高学年だけでなく、低学年から力を入れていきたい。 ・体を動かすことが苦手な児童も目標を立てやすい。 ・校舎内は、清掃活動が行き届ききれいで気持ちのよいものになっている。 ・膝について黙々と清掃している。友達と協力し、汚れが落ちて美しく快適になることの達成感は、貴重な体験である。
家庭・地域	・「熊谷の子どもたちは、これができます!『4つの実践』『3減運動』」  ・「熊谷市保護者のスマートフォン『4つの実践』」 	① 朝ごはんをしっかり食べる ② 呼ばれたら「はい」元気よく ③ 「ありがとう」「ごめんなさい」 ④ 友だちをたくさんつくる ① テレビの時間を減らす ② ゲームの時間を減らす ③ PC や携帯電話の時間を減らす ① 子供の携帯にはフィルタリングする ② 午後 9 時以降使用禁止 ③ ながら操作しない ④ 誹謗中傷しない	児 童 99% 96% 97% 98% 79% 81% 91% — — — — 保 護 者 98% 92% 96% 96% 89% 87% 86% 89% 81% 89% 90%	・より一層の指導をお願いします。 ・校舎内では、児童がみんなあいさつをしてくれる。毎朝の教員によるあいさつ運動の賜である。 ・学校外だとあいさつは、不十分である。より指導に力を入れていただきたい。 ・感謝の気持ちをあいさつで伝えられることを体験させてください。 ・相手が変わるとあいさつの仕方が変わったり、校外ではあいさつができなかったりするなどの児童が見受けら、今後も取り組みの継続を望む。 ・引っ込み思案だったり、無気力だったりする児童の指導。 ・はっきりあいさつのできる児童が増加し、気持ちがよい。 ・正しい情報収集と確実な指導をお願いします。 ・朝食を食べない児童の家庭への支援が大切である。 ・先生方の連携がとてもよく、何かの時には素早く迅速に対処を行う。突発的な台風・地震・火災等の避難誘導・不審者対応にも心強い。 ・学校からも各家庭に奨励をしていただきたい。 ・読書、家庭学習、家族との会話の時間を増やすには、保護者の理解と協力が不可欠である。家庭への働きかけを継続していく必要がある。 ・児童は、朝ご飯を食べたい。保護者は朝ご飯を提供して欲しい。